

エネルギー管理の強化

□現状

エネルギー使用量やエネルギー使用設備の実態が整理されていないため、エネルギー消費の特徴や省エネルギーの視点が把握し難い状況にある。

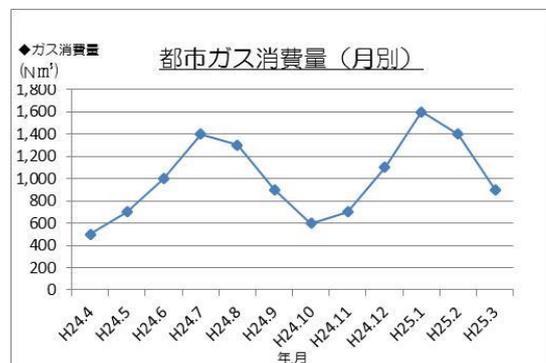
□改善提案

エネルギー使用状況の把握

月別のエネルギー使用量等について年度ごとに表やグラフで整理する。それにより、「昨年度同月との比較」や「同業種との比較」などが可能となり、次年度の省エネ対策に活かすことができる。エネルギーをどのくらい効率的に使用しているかを表す指標「エネルギー原単位」で比較することが望ましい。

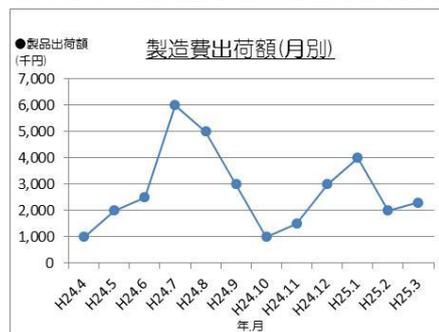
●エネルギー使用量の整理

事業所で使用している全てのエネルギー（電力や都市ガス、灯油など）について整理する。



●エネルギー使用量関連要因の整理

エネルギー使用量の増減と相関性のある要因について整理する。



工場（製造業）：

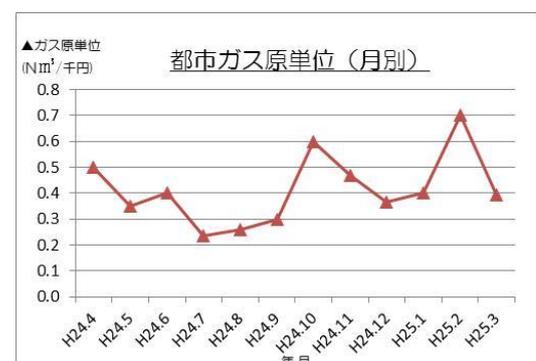
年間製品出荷額(円/年)や年間製品製造量(個/年)などで設定するのが一般的です。

業務系事業所（ビル・店舗・病院・老人ホーム等）：

延床面積(m²)や年間施設利用者数(人/年)などで設定するのが一般的です。

●エネルギー原単位の整理

エネルギー原単位を「エネルギー使用量/エネルギー使用量関連要因」で算出し整理する。



□改善提案

エネルギー使用設備の整理

すべてのエネルギー使用設備について、設備管理台帳を作成して整理する。それにより、

- 設備ごとのエネルギー消費量を推計できる
- 更新前後の消費エネルギーや能力、エネルギー効率などを容易に比較できる
- 設備の更新時期を容易に把握できる

ため、将来の省エネ対策を設計しやすくなる。

<設備管理台帳（例）>

設備名称	燃料	定格消費 エネルギー	定格能力	製造日	メーカー	型番	導入日 更新日	点検日 補修日
1Fエアコン	13A	冷房 25.9kW 暖房 21.3kW	冷房 71.0kW 暖房 80.0kW	H23.4	ダイキン 工業(株)	SZVYP 800F	H23.6	H23.6
2Fエアコン	13A	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□	□□□□	□□□	□□□	□□□
コンプレッサ	電気	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□	□□□□	□□□	□□□	□□□
NC 旋盤	電気	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□	□□□□	□□□	□□□	□□□
チラー	電気	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□	□□□□	□□□	□□□	□□□
ボイラ	13A	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□	□□□□	□□□	□□□	□□□
変圧器	電気	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□	□□□□	□□□	□□□	□□□
:	:	:	:	:	:	:	:	:
△△△△△△	△△	△△△△△△△△	△△△△△△	△△△	△△△△	△△△	△△△	△△△
○○○○○○○	○○	○○○○○○○○○	○○○○○	○○○	○○○○	○○○	○○○	○○○

□試算

本対策のみの実施では、エネルギー使用量等の削減効果を得られるものではないが、エネルギー使用量削減効果等を得るための基盤となる。